

校内研究

1 研究主題・副題

基礎的・基本的な内容及び学習習慣の定着を図る指導の充実
～基礎学力の定着のための学習指導と小・中・高連携の在り方の工夫～

2 主題設定の理由

近年、我が国では少子・高齢化の進行や人口減少社会の到来などにより、社会全体の活力の低下が心配されている。さらに、情報化や国際化の急激な進展などによる社会変化の中、価値観の多様化、家庭や地域の教育力の低下など様々な問題が指摘されている。そこで本県においても「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」のために「みやざき『学びのすすめ』～宮崎の子どもの学力を伸ばす”ひむか3か条”～」に取り組み、実践する教育を推進している。

本校は、「故郷を愛し、未来を切り拓く心豊かでたくましい生徒の育成」を学校教育目標に掲げている。具体的には校訓として「友愛」「勉学」「健康」を掲げ、T「たくましい体」U「美しい心」N「伸びゆく知性」O「旺盛な気力（都農魂）」を目指す生徒像として、知、徳、体のバランスのとれた生徒の育成を図っている。なかでも、「伸びゆく知性」については、確かな学力を身に付ける基本的な態度であり、本校が抱えている最重要課題の一つである。

昨年度は、研究主題「規範意識をもち、自ら学ぶ生徒の育成」副題「キャリア教育の視点をもった指導を通して」のもとに、研究を進めた。その結果、課題として「家庭学習においては、毎日の宅習（道程）に加え、自ら課題を見つけて取り組む姿勢を身に付けさせることが必要である。」「話し合い活動の進め方について、マニュアルを作成し、委員会活動においては効果的に活用できたが、教科や総合的な学習の時間においても活用できるものがあると、さらに生徒の意欲を喚起できる可能性がある。」「キャリア教育の系統的な計画を作成することができなかつたため、今後、本年度の実践をもとに取り組みでいきたい。」等が挙げられた。

また、本校は、平成26年度から平成28年度の3か年間において、宮崎の子どもの学力を伸ばす総合推進事業「基礎的・基本的な内容及び学習習慣の定着を図る指導の充実」（小・中・高）における「基礎学力定着指導実践推進地域」の指定を受けている。都農小学校、都農南小学校、都農東小学校（内野々分校）、都農高等学校と連携を図りながら、実践研究を推進していくことになっている。そのなかで、「児童生徒の基礎的・基本的な内容の確実な定着～学習指導及び教育課程の工夫」「学習習慣の形成～家庭との連携による指導・啓発」「読書活動の推進～地域や家庭との連携による指導・啓発」を地域全体で解決を図りたい主な課題等として挙げている。

そこで、本年度は、授業力の向上、学習訓練の工夫、家庭学習・読書の定着の推進に重点を置き、研究主題である「基礎的・基本的な内容及び学習習慣の定着を図る指導の充実」に取り組むこととした。

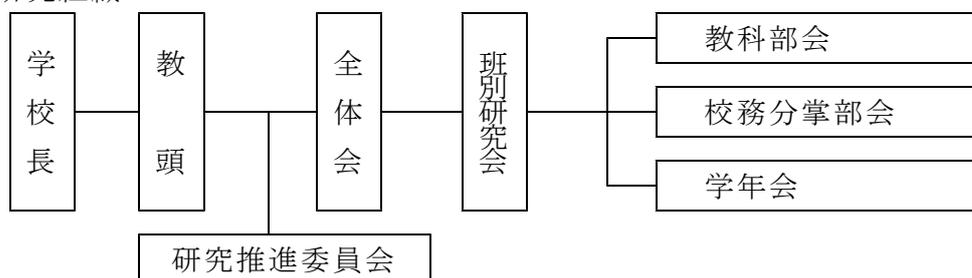
3 研究仮説

日々の授業を見直し、基礎学力の定着を図るための授業改善、家庭学習への取組を充実させるとともに、小・中・高連携の在り方を工夫すれば、基礎的・基本的な内容及び学習習慣が定着するであろう。

4 研究内容

- (1) 学力向上研究班
- ・研究授業・授業研究会の実施
 - ・教科指導力の向上
 - ・基礎的・基本的な内容の定着のための工夫
 - ・キャリア教育の推進
 - ・読書の定着の工夫
- (2) 学習環境研究班
- ・小中高連携（学習訓練・基礎的・基本的な内容の定着等）の推進
 - ・話し合い活動の進め方
 - ・家庭学習の定着化の工夫
 - ・家読の定着の工夫

5 研究組織



6 研究の全体構想

